

令和6年度 第1回 東京都移動性向上委員会 議事概要

日時：令和6年8月20日（火） 15:00～17:15

場所：国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 15階 第2会議室（WEB会議）

○議事内容

- （1）委員会の開催経緯と論点
- （2）最新の交通状況による分析
- （3）主要渋滞箇所の進捗状況及び見直し
- （4）TDM 施策の検討

○議事要旨

- （1）委員会の開催経緯と論点
 - ・これまでの委員会の開催経緯と今回委員会の論点について報告した。
- （2）最新の交通状況による分析
 - ・最新のプローブデータによる東京都内の交通状況について報告した。
 - ・東京都内の5kmメッシュ単位の平均旅行速度について、青梅市周辺でR4からR5にかけて旅行速度が20%以上向上していたメッシュがあったことについては、その要因を分析・把握することがその他の地区の旅行速度改善に繋がる可能性があることから確認をしておくことは有効、との意見があった。
- （3）主要渋滞箇所の進捗状況及び見直し
 - 1）六ツ又陸橋交差点の主要渋滞箇所解除要否
 - ・モニタリングにより解除候補箇所として選定した「六ツ又陸橋交差点」について解除の要否を審議した。
 - ・交通状況のモニタリング結果のみを根拠として解除の要否を判断するのではなく、速度状況のモニタリングや、方向別速度の変化、現地の交通状況や対策による周辺交通への影響等も併せて確認し総合的に判断すべき、との意見があった。
 - ・警視庁のデータで六ツ又陸橋交差点付近の現地状況を確認した際、どの方向においても目立った渋滞は発生していないとの意見があった。
 - ・六ツ又陸橋交差点については、本日の意見を踏まえ継続審議とし、次回委員会において解除を審議することとした。

2) 次回委員会での主要渋滞箇所解除要否の審議箇所

- ・ 次回委員会において解除の要否を審議する 14 箇所について報告した。
- ・ 対策未実施箇所 14 箇所において、ヒアリング等で改善要因を確認し、他の箇所での対策検討材料として活かすべきとの意見があった。
- ・ 14 箇所の解除候補についてはヒアリング及び交通状況分析を実施した上で、次回委員会において解除を審議することです承された。
- ・ 解除候補箇所のみモニタリング結果や進捗状況が掲載されているが、主要渋滞箇所全体において解除状況や対策の実施状況等の進捗がわかるリストを委員で共有することが要否の審議に当たって有効との意見があった。
- ・ 移動性向上委員会の趣旨から、この場ではピンポイントな部分を議論するだけでなく、東京都全体の対策状況に関する議論もできるとよいとの意見があった。

(4) TDM 施策の検討

- ・ 大田区臨海部における TDM 施策の概要を報告した。
- ・ 多摩地域における TDM 施策の概要及び検討内容を報告した。
- ・ TDM の効果を発揮させるためには関係機関一体となって協働をしていただきたいとの意見があった。
- ・ 行動変容が伴う施策に関しては、行動変容する利用者に対するメリットを明瞭にすることが効果の発現に繋がるのではないかと意見があった。

以上